

## 取扱いの趣旨

充填はう蝕等によって歯の実質欠損が生じた場合に行われる治療であり、算定にあたっては、歯の実質欠損を示す傷病名の記載が適切であることから、「疑い」の病名で充填の算定は原則として認められない。

## 支払基金が公表している取扱いの全文

【歯冠修復物及び欠損補綴】

《令和3年2月22日》

### 170 充填②

#### ○ 取扱い

原則として、「疑い」の病名で、充填の算定を認めない。

#### ○ 取扱いを定めた理由

充填はう蝕等によって歯の実質欠損が生じた場合に行われる治療であり、充填にあたっては、歯の実質欠損を示す傷病名の記載が適切である。

## グラフの見方

### 1 棒グラフ（該当レセプトの審査結果）

充填を算定している目視対象レセプト1万件当たり、条件（疑い病名に対して充填を算定）に該当するレセプト件数

### 2 折れ線グラフ

該当レセプトのうち、充填が査定・返戻となった割合

#### 【棒グラフ凡例】 審査の結果

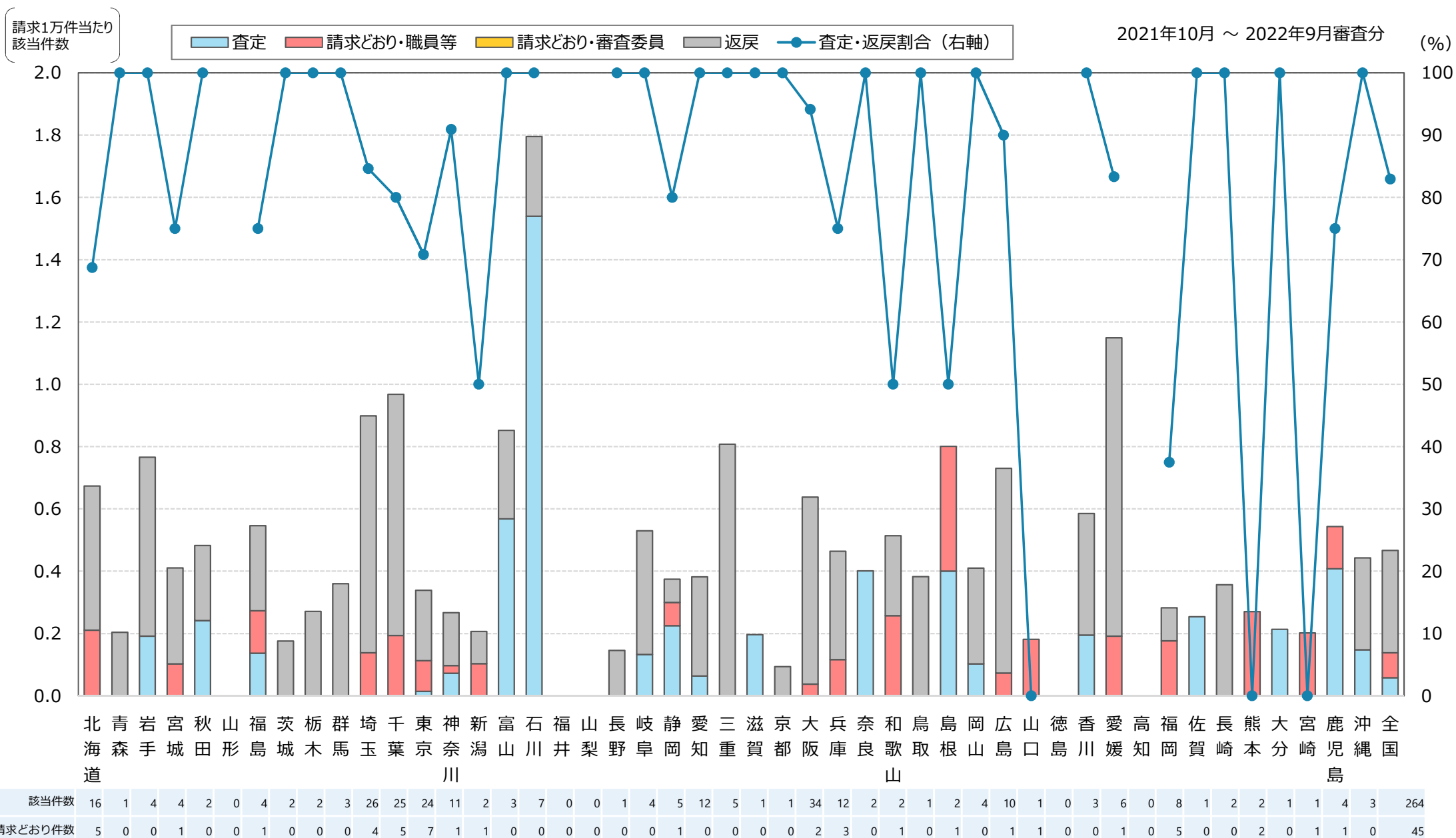
査定	返戻	: 取扱いどおり
請求どおり 職員等	請求どおり 審査委員	: 検証が必要

## 審査結果の概要

- 全国の査定・返戻割合 82.95%
- 検証を必要とする都道府県 7

検証観点	検証を要する都道府県	備考
査定・返戻割合が低い都道府県	熊本、福岡、北海道、東京、兵庫、千葉、埼玉	査定・返戻割合の低い順
請求どおり・職員等	熊本、北海道、千葉、福岡、埼玉、兵庫、東京	対象1万件当たり件数の多い順
請求どおり・審査委員		//

該当件数（全国）	疑い病名に対して充填を算定	264件
取扱いに基づく審査	査定・返戻の計	219件
検証を必要とする審査	請求どおり	45件



【該当件数】 疑い病名に対して充填を算定しているレセプト件数